



「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）を求める

意見書採択についての請願書

2019年 2月 20日

二本松市議会

議長 本多 勝 実 様

請願者 住所



氏名 原水爆禁止二本松協議会

代表 伊藤 紘



紹介議員

伊藤 広二



「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）を求める

意見書採択についての請願書

<請願趣旨>

2017年7月7日、国連本部で開かれた交渉会議で「核兵器禁止条約」が、賛成122カ国、反対1カ国（オランダ）、棄権1カ国（シンガポール）という圧倒的多数の賛同を得て採択されました。国連加盟国の6割以上の国の賛同を得たのです。今回の条約の特徴は、「ヒバクシャの苦しみや努力」に言及していることです。

そして、2018年12月5日、国連総会本会議は、「核兵器禁止条約」の調印・批准の促進を呼びかける決議を賛成126、反対41の大差で採択しました。日本政府は、この決議に米、英、仏、露、中、インド、パキスタンやNATO加盟国と共に反対しました。

世界で、唯一の被爆国である日本は、核兵器のない世界の実現を目指し、リーダーシップをとり核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡しをして、その実現に奮闘しなければなりません。国際社会もそれを待っているはずです。

私たちは、日本政府に対し、今こそ二度と戦争してはならないと固く決意した「日本国憲法」の平和理念と非核三原則の厳守を世界に宣言し、核兵器のない平和な日本、世界の実現のため「核兵器禁止条約」へ参加（調印・批准）することを求めます。

以上のことから、貴議会から、政府・関係機関に意見書を提出していただきたくお願いいたします。

<請願事項>

「核兵器禁止条約」に参加（調印・批准）を求める意見書を、政府・関係機関に提出していただくこと。

「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）を求める意見書（案）

2017年7月7日、国連本部で開かれた交渉会議で「核兵器禁止条約」が、賛成122カ国、反対1カ国（オランダ）、棄権1カ国（シンガポール）という圧倒的多数の賛同を得て採択されました。国連加盟国の6割以上の国の賛同を得たのです。今回の条約の特徴は、「ヒバクシャの苦しみや努力」に言及していることです。

そして、2018年12月5日、国連総会本会議は、「核兵器禁止条約」の調印・批准の促進を呼びかける決議を賛成126、反対41の大差で採択しました。

日本政府は、この決議に米、英国などと反対しました。

世界で唯一の被爆国である日本は、核兵器のない世界の実現を目指し、リーダーシップをとり核兵器を持つ国と持たない国の橋渡しをして、その実現に奮闘しなければなりません。国際社会もそれを待っているはずです。

私たちは、日本政府に対し、今こそ二度と戦争してはならないと固く決意した「日本国憲法」の理念と非核三原則の厳守を世界に宣言し、核兵器のない平和な日本、世界の実現のため「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）に努力するよう強く要請するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2019年 月 日

内閣総理大臣	安部晋三	様
外務大臣	河野太郎	様
衆議院議長	大島理森	様
参議院議長	伊達忠一	様